

(12)非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	担当時間数
教育課程行政特論	30
学校精神保健特論	30
学校精神保健演習	30
健康教育の方法及び技術	30
精神医学特論/精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	30
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	30
心身医学特論	28
英語科教育第二言語習得特論	30
英語文学演習	30
地理情報学特論	30
政治学特論	28
物理教材研究	14
機械工学特論	30
住居学特論	30
美術史特論	30
日本語教育学演習	30
時間数計	460

イ 学校教育学部

授業科目名	担当時間数
スラブ文化事情	30
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
社会教育演習Ⅱ	30
学習指導と学校図書館	16
総合・生活(A・Bグループ)/総合・生活A	14
総合・生活(C・Dグループ)	16
総合・生活(免P)/総合・生活A(免P)	12
総合・生活科指導法A	18
総合・生活科指導法A(免P対象)/生活科指導法(免P)	20
情報と職業	28
情報科指導法(授業論)/情報科指導法(授業・教材論)	30
教育本質論	30
生涯学習概論B	30
保育・表現の指導法	15
保育・健康の指導法	30
身体表現の基礎	16
乳児保育Ⅰ	30
乳児保育Ⅱ	15
養護内容	30
保育者論	30
福祉心理学	30
精神医学入門(精神疾患とその治療)	30
国語学演習B	30
国語学講読A	30
国文学講読A	30
国文学演習A	30
国文学演習B	28
漢文学講読	30
コミュニケーション英語AⅡ(Cグループ)	32
コミュニケーション英語AⅡ(Dグループ)	32
コミュニケーション英語BⅠ(Cグループ)	32
コミュニケーション英語BⅡ(Aグループ)	32
コミュニケーション英語BⅡ(Bグループ)	32
コミュニケーション英語BⅡ(Cグループ)	32
コミュニケーション英語CⅠ(Aグループ)	32
コミュニケーション英語CⅠ(Cグループ)	32
コミュニケーション英語CⅡ(Aグループ)	32
コミュニケーション英語CⅡ(Bグループ)	32
コミュニケーション英語CⅡ(Cグループ)	32
コミュニケーション英語CⅡ(Dグループ)	32
小学校英語指導法(A・C)	30
小学校英語指導法(免P)	30
英語コミュニケーション(ライティング)/英語コミュニケーション演習(ライティング)	32
英語学概論	30
英語文化圏文学/英語学概論	30
英文学演習/英語学演習	30
比較文化	30
中等英語科指導法(学習論)	30
人文地理学概説	30
倫理学概説	30
政治学概説	28
社会学概説	30
考古学認識論	30
算数科指導法(免P)	15
算数科指導法(ABグループ)	15
算数科指導法(CDグループ)	15
数学科指導法	20
数学教材開発論	15
計算機数学演習	15
算数(免P)	24
物理学	12
物理学実験	28
化学	10
化学実験	20
音楽	48
音楽(免P)	22
独唱Ⅲ/日本音楽B(日本の伝統的な歌唱を含む。)	32
合奏B/日本音楽AⅠ	32
美術史論	30
造形表示A	15
スノースポーツ	30
ボールゲーム	30
体育	28
体育(免P)	8
ダンス	30
金属加工法	32
機械工学概論	30
機械工学実習	30
被服学	15
調理の理論と実習	45
住居学(製図を含む。)	10
時間数計	2,168

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
道徳教育論	道徳教育に関するさまざまな理論と実践を取り上げ、検討する。講義形式で行うが、ビデオ視聴や話し合い、演習の時間も設ける。	4
総合・生活科指導法 A	生活科・総合的な学習の時間の授業づくり	8
総合・生活科指導法 B	総合・生活科指導法の実践的指導力の基礎の育成を図る。主に上越教育大学附属小学校の総合単元的な活動についての講義・演習を行う。	6
生活科指導法／総合・生活科指導法 (免P)	生活科・総合的な学習の時間の授業づくり	2
総合的な学習の時間の指導法	「総合的な学習の時間」の指導の実際について、主に上越教育大学附属中学校における総合的な学習の時間の運用と具体的な指導の在り方について講義・演習を行う。	6
学習場面臨床学	もの・こと・人と相互作用的に関わり合うことで社会的・文化的・歴史的に意味や価値を生成し更新していく子どもの学びの成り立ちとその過程、及びそこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	4
表現・人間学基礎論	表現行為を通した子どもたちの学びと自己の成り立ちの過程の実際と、そこにおける教師の姿勢、視点、思考、関わりについて各教科、道徳、総合的な学習の時間等の事例を通して実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎 (介護等体験の指導内容を含む)	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	4
学習活動に困難のある子どもの教材づくり	学習活動における困難のある子どもの教材、支援機器及び教材づくりの実際に関する基礎的な知識を得る。	8
障害児保育	様々な障害について理解するとともに、障害のある幼児の保育の実際、保護者への支援等、障害児保育に関する基礎的な知識を得る。	12
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	4
初等社会科指導法	現職教員の立場から講義をしていただき、社会科の特質を理論的かつ実践的にとらえ、小学校社会科教育実践のための基礎的かつ具体的な理解を得ることを目標とする。小学校の元校長、及び、新潟県社会科教育研究会の元会長という立場から講義をしていただき、社会科の特質を理論的かつ実践的にとらえ、小学校社会科教育実践のための基礎的かつ具体的な理解を得ることを目標とする。	12
社会科・公民科教育学基礎	租税教室により、税制度を学生に理解させ、社会科の授業構想を行うことを目的とする。	8
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	12
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	4
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討	8
初等音楽科指導法	「生活科」で子どもが動物飼育から感じ取った感情を歌にする活動から子どもの感性が育まれる学習原理について解説をしていただく。「特別活動」での音楽劇の実践事例をもとに、題材の想起、構成、実践など教員に必要な資質・能力について解説していただく。附属小学校研究発表会での音楽集会（集団活動）をもとに、学校・学級運営に音楽が果たす役割について解説していただく。	12
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす。学校教育現場における中学校音楽科の授業の実際。	8
図画工作科指導法	図画工作科の教材とその指導法について、実践的立場から演習を行う。	18
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。	8
教育課程の編成・実施とカリキュラム・マネジメント	実践事例をもとに、教育課程の意味や編成方法、カリキュラム・マネジメントの意義や方法について理解する。学校の教育目標を踏まえた総合的な学習の時間のカリキュラムづくりを通して、目標・内容・方法のつながりや教科横断的な視点の重要性、教育課程全体と各教科等との往還について考える。	4
実践セミナー「家庭」、及び実践場面分析演習「家庭」	中学校（小学校）家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	4

※教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活	生活科・総合的な学習の時間の実践例	6

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
保育実習指導Ⅰ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	4
保育実習指導Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。児童養護施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	4
保育実習指導Ⅲ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	8
保育実習指導Ⅳ	療育施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	2
介護等体験（社会福祉施設）事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ	教育実習に必要な理論、技術、方法の習得を通じて、実践的指導力の基礎を培う。教育実習ループリックのSTAGEⅠの達成を目標とする。	32
保育実習Ⅱ	福祉施設の役割と機能、保育士の役割と倫理等について、具体的に理解する。	24
特別支援学校教育実習	特別支援学校教諭免許状を取得するための教育実習を実施する。	8

③ ティーチングアシスタント

修士課程学生

(令和2年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
【通常ティーチング・アシスタント】				
体験学習・共通	五百川 裕 他	通年	不定期	20時間
体験学習 (Aグループ)	五百川 裕 他	通年	不定期	20時間
体験学習 (Dグループ)	東原 貴志 他	通年	不定期	18時間
体験学習 (Hグループ)	長谷川 正規 他	通年	不定期	20時間
生活の中の科学	東原 貴志	通年	金1,5	15時間
プログラミング教育基礎演習	大森 康正 他	通年	集中	17時間
表現・相互行為教育演習	榊原 潔 他	前	火1	10時間
教養スポーツ (A・Bグループ)	榊原 潔 他	通年	水2	60時間
教養スポーツ (C・Dグループ)	榊原 潔 他	通年	木2	60時間
スノースポーツ	榊原 潔 他	後	集中	30時間
ボールゲーム	榊原 潔 他	後	金2	27時間
教育情報演習 (Bグループ)	大森 康正	後	金3	30時間
教育情報演習 (Cグループ)	高野 浩志	後	水2	30時間
教育情報演習 (Dグループ)	石川 真	後	木2	30時間
音楽	長谷川 正規 他	通年	木3	80時間
図画工作 (Aグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	金3	30時間
図画工作 (Bグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	木1	26時間
図画工作 (Cグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	火3	26時間
図画工作 (Dグループ)	洞谷 亜里佐 他	前	木4	30時間
体育	池川 茂樹 他	通年	前期火4 後期火1	45時間
算数科指導法 (A・Bグループ)	高橋 等 他	前	木2	21時間
算数科指導法 (C・Dグループ)	高橋 等 他	前	火2	22時間
総合・生活科指導法B	釜田 聡 他	前	金2	21時間
初等音楽科指導法 (A・Bグループ)	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	月2	28時間
初等音楽科指導法 (C・Dグループ)	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	木2	28時間
図画工作科指導法 (A・Bグループ)	阿部 靖子, 五十嵐 史帆	前	火3	30時間
図画工作科指導法 (C・Dグループ)	阿部 靖子, 五十嵐 史帆	前	木1	30時間
初等体育科指導法 (Aグループ)	周東 和好 他	前	月1	5時間
コミュニケーション英語A I (Bグループ)	大場 浩正	前	水2	30時間
コミュニケーション英語A I (Dグループ)	大場 浩正	前	金2	30時間
コミュニケーション英語A II (Aグループ)	北條 礼子	後	水2	30時間
コミュニケーション英語B I	野地 美幸	前	火2	30時間
コミュニケーション英語C I	北條 礼子	前	水2	23時間
コミュニケーション英語A II (Bグループ)	野地 美幸	後	木2	30時間
小学校英語指導法	北條 礼子	前	火4	23時間

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
保育・表現の指導法	阿部 靖子 他	後	金 2	23 時間
身体表現の基礎	榊原 潔 他	前	金 2	23 時間
書写書道 (I)	押木 秀樹	後	月 3	23 時間
書写書道 II	押木 秀樹	前	月 3	23 時間
英語学演習	野地 美幸	前	水 2	23 時間
計算機数学演習	林田 秀一 他	後	木 4	23 時間
地学実験	瀧崎 智佳, 天野 和孝	前	月 4, 5	23 時間
生物学実験	中村 雅彦, 谷 友和	前	火 1, 2	23 時間
物理学実験	小川 佳宏	後	月 3, 4	23 時間
化学実験	下村 博志 他	後	火 4, 5	12 時間
指揮法	長谷川 正規	前	木 5	23 時間
造形基礎 (A・Cグループ)	阿部 靖子, 洞谷 亜里佐, 伊藤 将和	前	月 5	23 時間
造形基礎 (B・Dグループ)	松尾 大介, 兪 期天	前	月 4	23 時間
日本画表現	洞谷 亜里佐	前	火 4	18 時間
デザインワーク I	安部 泰	後	木 3	23 時間
彫刻表現 I	松尾 大介	後	木 5	22 時間
工芸表現 (陶芸)	兪 期天	前	木 4	23 時間
球技	榊原 潔, 土田 了輔	後	火 4	8 時間
体操・器械運動	周東 和好	後	水 2	23 時間
水泳	松浦 亮太	前	火 1	23 時間
栽培法	山崎 貞登	前	木 3	23 時間
木材手工具加工法	東原 貴志	前	木 5	23 時間
木材機械加工法	東原 貴志	後	月 4	23 時間
電気工学実験実習	岡島 佑介	前	木 4	23 時間
保育学実習	吉澤 千夏	通年	集中	23 時間
被服製作の理論と実習	佐藤 悦子	後	火 3, 4, 5	23 時間
【遠隔授業支援のためのティーチング・アシスタント】				
保育・人間関係の指導法	高田 俊輔	後期	月 3	30 時間
書の表現と文化	押木 秀樹	後期	月 4	30 時間
計算機数学演習	林田 秀一	後期	木 4	30 時間
プログラミング教育応用演習	大森 康正	後期	集中	20 時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 敏恵 他	後期	集中	36 時間

博士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
SDGsに対応したワークショップの理論と実際	釜田 聡 他	通年	金 3	40 時間
塑造研究	松尾 大介	前期	金 1, 2	39 時間
実材研究	松尾 大介	後期	火 1, 2	48 時間
図画工作	松尾 大介 他	前期	金 3 他	23 時間
主体的学びの臨床課程	松本 健義	前期	月 2	60 時間
中国語・中国事情	野澤 有希	前期	木 4	21 時間

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

(令和2年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国語（書写を含む。）	押木 秀樹 他	前	金 1 一部集中	26 時間
社会	畔上 直樹 他	前	火 5	26 時間
理科	濤崎 智佳 他	後	月 2	26 時間
音楽	平野 俊介 他	通年	月 6	21 時間
図画工作	洞谷 亜里佐 他	前	木 6	49 時間
体育	松浦 亮太 他	通年	火 5	20 時間
家庭	小高 さほみ 他	前	月 2	3 時間
道德教育論	林 泰成, 早川 裕隆	後	木 1	26 時間
中等道德教育論	林 泰成, 早川 裕隆	後	火 1	26 時間
特別活動論	高橋 知己	前	木 2	26 時間
中等特別活動論	高橋 知己	前	金 1	26 時間
算数科指導法	布川 和彦	後	水 6	26 時間
初等音楽科指導法	尾崎 祐司, 時得 紀子	前	火 2	30 時間
図画工作科指導法	五十嵐 史帆, 阿部 靖子	後	木 6	26 時間
初等体育科指導法	周東 和好 他	前	水 1	5 時間
生徒指導論	安藤 知子, 稲垣 応顕	後	月 1	13 時間
中等生徒指導論	安藤 知子, 稲垣 応顕	後	月 1	13 時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 敏恵 他	後	木 2	26 時間
キャリア教育論	山田 智之	後	月 1	26 時間
中等進路指導・キャリア教育論	山田 智之	後	月 1	13 時間
日本国憲法	小島 伸之	後	水 1	26 時間
人権・同和教育	蜂須賀 洋一	後	金 1	26 時間
特別支援教育基礎	村中 智彦 他	前	木 5	18 時間
特別支援教育概論	村中 智彦 他	後	木 5	52 時間

⑤ リサーチ・アシスタント

(令和2年度)

任用期間	研究補助業務 担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト 代表者
令和2年6月1日 ～令和3年3月31日	146時間	地域に開かれた美術館構想における小中高等学校総合学習との連携事業に関する研究	芸術系教育連合講座	松本 健義 教授
令和2年6月1日 ～令和3年3月31日	88時間	彫刻を中心とした立体表現における造形要素の特徴に着目した表現と鑑賞の教材の開発	芸術系教育連合講座	松尾 大介 教授